

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

|   |                                 |  |
|---|---------------------------------|--|
| <p><b>1 一人一人の児童生徒の尊重</b></p>  | <p><b>2 友達への思いやり</b></p>        | <p><b>3 道徳・心の教育の充実</b></p>                               |
| <p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていると思いますか。</p>  | <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> | <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p> |
|   |                                 |  |
| <p>【学校から】○学校から保護者へは、学校便り、PTA総会、懇談会などを活用し、事あるごとに教育方針・目標を伝え、児童には始業式・終業式・集会等で伝えてきた。そのため、保護者・児童・教職員とも「3」「4」の割合が昨年より増えている。更にわかりやすく伝える努力を続けていきたい。○教師も保護者も、子どもは楽しい学校生活を送れていると考えているが、わずかながら「2」もある。楽しくない原因はどんなところにあるのか、つらい思いをしている子はいないか、確認しながら教育に取り組んでいきたい。○教師の連携協力について、「4」の割合が保護者、教職員とも上がり、特に教職員の意識として15ポイントも上がっている。更に協力体制を充実させていきたい。</p> |                                 |  |

②確かな学力を育む教育の推進

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p><b>4 意欲的な学習態度</b></p>   | <p><b>5 授業力向上</b></p>                   | <p><b>6 ICT活用</b></p>                          |
| <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>  | <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> | <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p> |
|  |   |  |
| <p>【学校から】○授業作りの工夫に関して、児童・教職員の「3」「4」の割合が上がっている。その影響からか、意欲的な学習態度も児童・教職員共に「3」「4」の割合が上がっている。自主発表に向けた取組の結果であろう。「2」の割合は大きく減っているものの、それでも勉強が「わからない」「楽しくない」という子どもが存在するということを謙虚に受け止め、一人一人の子どもたちへ更に目を向けていきたい。</p> |   |  |

③健やかな体を育む教育の推進

|  |
|--|
| <p><b>7 健康づくり</b></p>  |
| <p>子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>   |
|  |
| <p>【学校から】○年間指導計画に沿って人権教育を実施し、日頃から人権意識を喚起してきた。問題が起こった時にはその都度、問題解決に努めている。一人一人の子どもを大切にしているという意識をもって教育を進めているが、約1割の保護者は不十分で</p> |

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

|   |
|---|
| <p><b>8 児童生徒理解</b></p>                        |
| <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p> |
|   |

②特別支援教育の推進

|  |  |
|--|--|
| <p><b>9 いじめや問題への対応</b></p>                     | <p><b>10 学校の支援体制</b></p>                               |
| <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> | <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> |
|  |  |

【学校から】○授業作りの工夫に関して、児童・教職員の「3」「4」の割合が上がっている。その影響からか、意欲的な学習態度も児童・教職員共に「3」「4」の割合が上がっている。自主発表に向けた取組の結果であろう。「2」の割合は大きく減っているものの、それでも勉強が「わからない」「楽しくない」という子どもが存在するということを謙虚に受け止め、一人一人の子どもたちへ更に目を向けていきたい。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

|   |
|---|
| <p><b>11 安全と事故防止</b></p>                  |
| <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p> |
|   |

②最適な学習環境の整備

|   |
|---|
| <p><b>12 施設・設備の安全管理</b></p>             |
| <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> |
|   |

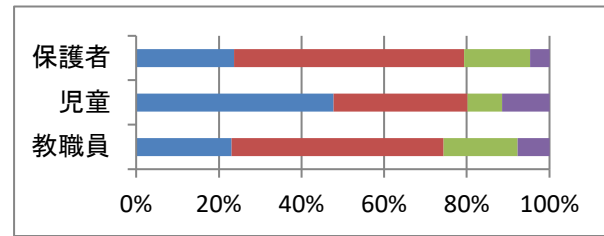
【学校から】○年間指導計画に沿って人権教育を実施し、日頃から人権意識を喚起してきた。問題が起こった時にはその都度、問題解決に努めている。一人一人の子どもを大切にしているという意識をもって教育を進めているが、約1割の保護者は不十分で

【学校から】○年間指導計画に沿って人権教育を実施し、日頃から人権意識を喚起してきた。問題が起こった時にはその都度、問題解決に努めている。一人一人の子どもを大切にしているという意識をもって教育を進めているが、約1割の保護者は不十分で

### ③家庭・地域社会との連携強化

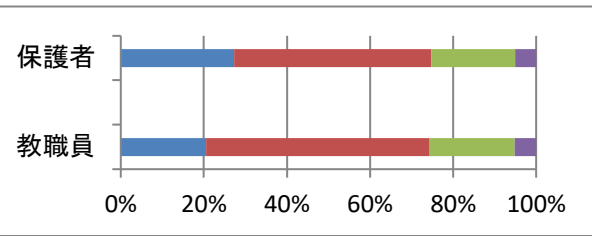
#### 13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



#### 14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

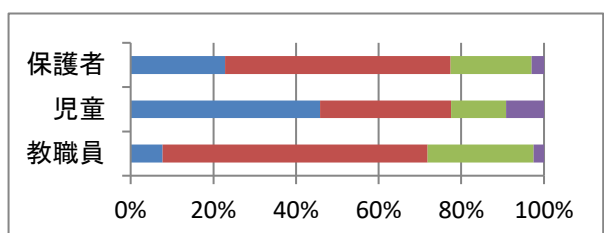


【学校から】○保護者・児童の中に「2」の意見もわずかが見られる。教師は生徒理解やいじめや問題への対応をすべての児童に対して行っているが「わが子が」「自分が」理解・対応してもらえてない、と感じる人が少数ながら存在するという点を謙虚に受け止め、更に一人一人に目を向け、対応していきたい。○規範意識に関して、保護者や児童は現状にほぼ満足しているが、教職員は不十分であるととらえている。教職員から見ても「不十分な部分」について公私、保護者の啓蒙・児童への指導を行っていききたい。

### ⑧本校の教育

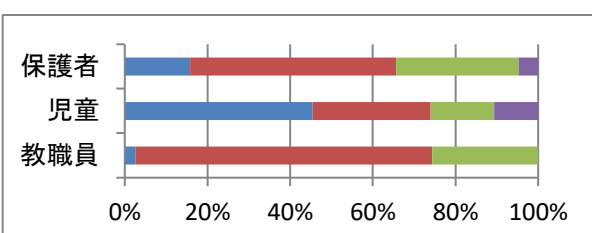
#### 15 時を守る

子どもは、時間を守って生活していると思いますか。



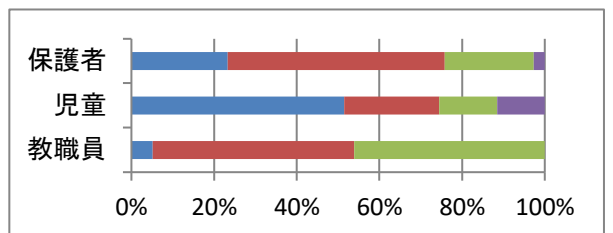
#### 16 場を清める

子どもは、身のまわりを整えきれいにしていると思いますか。



#### 17 礼を正す

子どもは、あいさつをすすんで行っていると思いますか。



【学校から】○毎月の施設安全点検を入念に行くと共に、日頃から遊具や用具の使い方について指導を繰り返し、子どもの事故防止に努めている。また、避難訓練を定期的に行い、緊急時に素早く安全が確保できるよう努めている。今後も安全点検・安全教育に努めたい。○体力向上に関し、教職員は肯定的にみているが、アンケート結果から、児童の1割が「2」「1」をつけている。このような子どもたちが進んで体力向上に取り組めるような工夫を考えていきたい。○教科体育でも体づくりの運動などより一層工夫をしていきたい。

### 来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標方針については、さらに分かりやすく、学級・学校便り、PTA新聞、諸団体会合などあらゆる機会を通して情報発信を行う。
- 毎時間の授業の充実のための教材開発を続けていくとともに、学びノートを中心とした学力充実と厳しい状況の子どもの生活習慣の確立など、個に応じた学習のさらなる徹底を図っていく。
- 学校の職員や児童会だけではなく、PTAや地域の諸団体と連携しながら基本的な生活習慣のキャンペーンの実施などを通して、挨拶、マナーなどの規範意識を育てる指導の徹底を図る。
- 安全、食育、総合・教科学習の面から、保護者・地域との人材交流、情報の共有をさらに進め、地域に根ざした教育を充実させる。特に、食育については、地域の「町づくり実行委員会」とタイアップしながら、ふれあい農園での体験活動を重ねるなど地産地消のキャンペーンを展開していきたい。
- 新型インフルエンザ等に対応するために、手洗い・うがいなど基本的な生活習慣の確立を図る。また、心身共に健康な生活を送れるように、より一層の工夫に努めたい。
- 全国標準学力調査（NRT調査）を受けて、より児童の学力を分析し、きめ細かな指導の工夫改善に努めたい。
- 体力向上として、年間指導計画を見直したり体力づくり月間を設けたりして子どもたちの体力向上に向けて取り組んだ。どの学年も全国の平均を上回る種目が多くなった。さらに持久力と走力アップの工夫を図っていきたい。

### 学校関係者評価

- 公開授業や音楽会などの学校行事を通して、子どもたちが楽しく学校生活を送っていることがよく伝わってくる。学校教育目標では、保護者・児童・教職員ともに「3」「4」の割合が昨年度よりも伸びており、学校の取り組みの成果が評価されていると言える。
- 教科指導等では、一人一人のニーズに応じた教育活動の工夫が見られた。10月の自主公開授業や授業参観でも先生方の工夫や努力が子どもたちの力を伸ばしていることが実感できた。
- 道徳、心の教育、人権教育では、校内研修を通して子どもたちが「豊かに関わりあうこと」ができており、取り組んできたことが、人権教育や子どもフォーラムでの子どもの姿につながっている。
- 生徒指導・教育相談では、あいさつの励行や規範意識の醸成を図ってきているが、さまざまな事情を抱えている子どもがおり、細やかな配慮をしながらすべての子どもたちが心豊かに育ってくれるようにしていきたい。壺川小校区では地域の支えがしっかりしているのでこれまで以上に連携・協力を深めていきたい。
- 健康教育・安全では昨年度の体力向上推進の取り組みが生きているので、今後の子どもたちの活動につなげてほしい。防犯・交通安全については地域と一体になり進めていきたい。
- 家庭・地域との連携は子どもたちの成長を願い学校を中心としていっそうの連携協力をしていってほしい。